

うちなだ 議会だより

Vol.115

平成25年〔2013〕
11月5日 発行



大根布奴行列の披露（関連記事2ページ）

9月定例会

住みよいまちへ前進！

②

24年度決算を認定

④

委員会レポート

⑥

一般質問 —12人が登壇—

⑦

ありゃ～どうなったがいね～

⑳



前進!

平成25年
第3回 定例会
9月3日～19日

耐震補強

少年の家(向栗崎)

950万円

鶴ヶ丘西公民館

850万円

室公民館

700万円



- ・耐震補強、老朽化に伴うリフォーム及びバリアフリー工事

平成25年第3回定例会が開催され、平成25年度一般会計補正予算のほか、条例5件、道路線の認定と変更の2件、人事案3件の計11件を審議し、すべて原案のとおり可決しました。

平成25年度一般会計では、1億1774万円を追加し総額は80億9301万円となりました。

観光振興

地域伝統芸能全国大会

出演報奨金 30万円

- ・第21回「地域伝統芸能全国フェスティバルin石川」に大根布奴行列保存会が会場 (石川県立音楽堂)



樹木管理

松くい虫の防除委託料

940万円

- ・千鳥台、緑台、向陽台、鶴ヶ丘の松約2,700本に樹幹を注入



関連6ページ

一般会計補正予算
(全員賛成)

条例改正
(全員賛成)

・次世代育成支援地域行動計画評価委員会設置条例
子ども・子育て支援法の規定による改正

・税外歳入の延滞金等に関する条例
地方税法の改正に伴い、延滞金の率を見直す改正

・後期高齢者医療に関する条例
地方税法の改正に伴い、延滞金の率を見直す改正

・介護保険条例
地方税法の改正に伴い、延滞金の率を見直す改正

・公共下水道事業受益者負担金及び分担金に関する条例
地方税法の改正に伴い、延滞金の率を見直す改正

・地方税法の改正に伴い、延滞金の率を見直す改正

妊婦歯科健診助成 住みよいまちへ

母子保健

妊婦の歯科健診費用助成

20万円

- 対象は、本町に住所を有する母子健康手帳の交付を受けた方で1人1回
- 個人の希望する時期に指定医療機関で無料受診が可能



関連 6 ページ

道路改良

諸江向栗崎線の舗装改良

- ロビンスクラブから三治整形外科まで

7,000万円

道路標識や照明の調査費

- 町内全域の調査

600万円



関連
6 ページ

大会補助

内灘中学校へ大会出場費の追加補助

100万円

- 各種大会において好成績をおさめ全国大会等に出場



関連 6 ページ



(新任) 浜田 寛氏
はまた ひろし

・公平委員
(賛成13人 反対2人)



(新任) 北川 八千恵氏
きたがわ やちえ



(新任) 中村 壽氏
なかむら ひさし
・教育委員 (全員賛成)

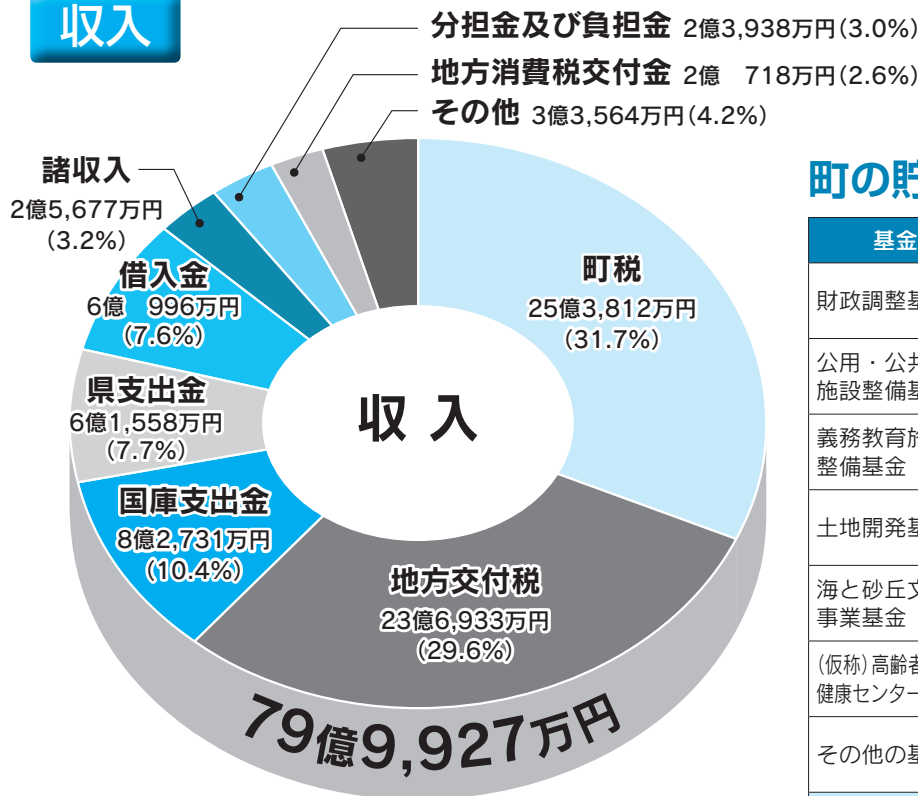
人事案件

赤字縮小

決算特別
委員会

24年度 ▲2,338万円

収入



町の貯金

基金名	23年度末	24年度末
財政調整基金	6億1,330万円	6億6,591万円
公用・公共用施設整備基金	1億32万円	1億4,597万円
義務教育施設整備基金	2億5,042万円	2億7,065万円
土地開発基金	1億202万円	1億212万円
海と砂丘文学顕彰事業基金	1億66万円	1億66万円
(仮称)高齢者いさいき健康センター整備基金	1億5,100万円	1億6,621万円
その他の基金	1億2,182万円	1億2,240万円
合 計	14億3,954万円	15億7,392万円



町民一人あたりの貯金
5万8,233円

平成25年3月末

人口**27,028人**



酒本昌博 川口正己 中川 達 ◎太田臣宣 ○恩道正博 水口裕子 能村憲治
(◎…委員長、○…副委員長)

・各会計の昨年度決算7件と水道会計の剰余金を審議し、左記の指摘・要望事項を付けて、いずれも認定しました。

24年度の
事業成果を審査

決算特別委員会

厳正に審査

実質単年度収支 23年度 ▲1億3,957万円

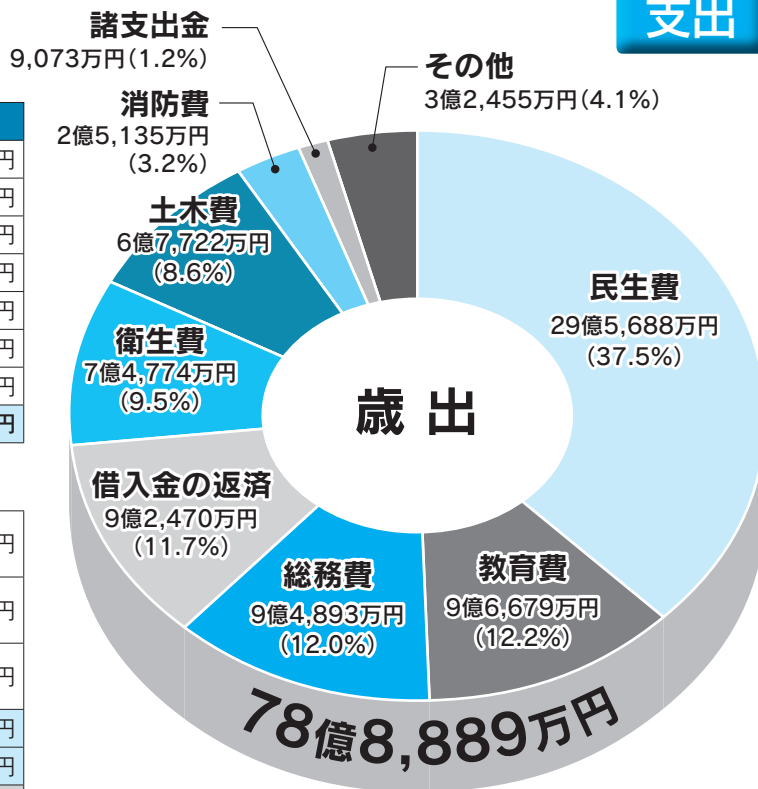
町の借金

地方債	23年度末	24年度末
総務関連事業債	7億6,584万円	7億 989万円
民生関連事業債	3億2,915万円	3億 587万円
衛生関連事業債	8,745万円	8,476万円
土木関連事業債	21億1,322万円	19億3,496万円
教育関連事業債	19億1,936万円	18億3,036万円
臨時財政対策債	32億7,766万円	35億5,111万円
その他の町債	4億9,943万円	4億 181万円
①一般会計町債の計	89億9,211万円	88億1,876万円

特別会計の借金

公共下水道事業特別会計	95億5,915万円	95億2,787万円
新エネルギー事業特別会計	7,372万円	5,562万円
国民健康保険特別会計	6,400万円	5,120万円
②特別会計町債の計	96億9,687万円	96億3,469万円
③水道事業会計	9億 918万円	9億1,303万円
町の借金の合計 (①+②+③)	195億9,816万円	193億6,648万円

支出



町民1人あたりの支出額
29万1,878円
(一般会計)



町民一人あたりの借金
32万6,282円
(一般会計)

指摘・要望事項

- ・北陸新幹線の開業を控え、更なる町の魅力発信のためにも、積極的にサンセットブリッジのライトアップを図るよう検討すべき。
- ・緊急雇用事業は、社会情勢を反映した対策事業であるが、貴重な補助金を活用しており、町として持続して継続できる事業に取り組むべき。
- ・町民夏まつりや、世界の風の祭典など、各種イベント等のあり方も含め見直しを検討すべき。
- ・体育施設の使用に際し、プラッツ会員と非会員との区別を明確にするためにも、会員証等の提示を求めるなど、見直しを検討すべき。
- ・シルバー人材センターは、設立目的に沿わない運営状況との指摘がある。町として補助金や施設貸し出しの見直しなどを検討すること。
- ・内灘海水浴場の駐車場は、世界の風の祭典などのために町が整備したものであり、浜茶屋組合が500円を徴収するのはおかしいとの指摘がある。来年度に向けて、協力金のあり方を検討すること。
- ・コミュニティバスの運行ルートで、旭ヶ丘地区の延伸したルートが現状のままでいいのか、再度運行ルートの見直しを検討すべき。

総務産業建設常任委員会

海岸清掃補助金

Q 県補助金は25・26年度の2年間で聞いている。27年度以降どうなるのか。

A 平成27年度以降も補助金が継続されるよう、国・県に要望する。

しつかりとした舗装構造に

Q 幹13号諸江向栗崎線は、のと里山海道の無料化により交通量が増加している。幹線道路としてしつかりとした舗装構造とすべきだ。

A 通過交通量の調査結果を踏まえ、適正な舗装構成で工事を実施する。

樹幹への薬剤注入

Q 町有山林の管理として、樹幹への薬剤注入を継続せよ。

A 県からの全額補助は本年限りであり、来年度は1/2の補助となる予定である。県に対し全額補助継続を要望していく。

ゲリラ豪雨対策は

Q 8月のゲリラ豪雨により、北部地区に浸水被害が発生した。西部承水路などの適切な管理や、排水機能の整備・改修を国・県に対してしつかりと要望せよ。

A 浸水被害後、県に対しては直ちに要望をおこなっており、今後も粘り強く国・県に対し要望していく。



町民による海岸美化清掃

文教福祉常任委員会

妊婦歯科検診

Q 妊婦歯科検診制度のスタートにあたり、対象者には積極的な広報・周知をおこなうべきだ。

A 個別の通知に加え、町広報などにより検診の重要性を周知する。

大会出場補助金

Q 全国大会などに出場した場合、補助金が支給される競技と、されない競技がある。中学校の部活動の場合も同様であり、支給基準はどうなっているのか。

A 部活動の一環として選手・引率者を派遣するため、中学校体育連盟が主催または後援していることを支給基準としている。基準から外れた場合は、小学生のスポーツ大会補助金（交通費・宿泊費の1/2支給）で対応している。

東京大学との共同研究

Q 公民館共同研究事業で、対象の地区公民館選定にあたり、自主性・主体性を重視し公民館と教育委員会で十分な協議をすべきだ。

A 地区公民館および東京大学の意向を確認しながら事業を進めていく。



東京大学教授と公民館主事との意見交換

一般質問

町政を問う

12人が登壇

八田 外茂男 議員 8

- ・安全安心な海水浴場に
- ・西荒屋小学校の今後は ほか 2 問

川口 正己 議員 9

- ・フィルムコミッションを設立せよ
- ・共同墓地の整備計画は ほか 3 問

清水 文雄 議員 10

- ・派遣人事は条例違反だ
- ・小中学校教職員の労働環境は ほか 2 問

水口 裕子 議員 11

- ・内灘闘争史跡の文化財指定は
- ・障がい者への災害時の対策は ほか 1 問

中島 利美 議員 12

- ・携帯電話のルール徹底を
- ・妊婦の歯科検診助成制度は ほか 1 問

中川 達 議員 13

- ・道の駅の現状と今後は
- ・徴収率アップへの対策は ほか 3 問

太田 臣宣 議員 14

- ・住宅リフォーム助成制度の創設を
- ・空き家調査の利活用 ほか 3 問

生田 勇人 議員 15

- ・西部承水路の排水機能改善を
- ・消防団員の確保は ほか 1 問

藤井 良信 議員 16

- ・内灘高校の活性化を
- ・教育の充実を ほか 2 問

酒本 昌博 議員 17

- ・不登校への対策は
- ・道路冠水対策は

能村 憲治 議員 18

- ・日本一のまちづくりを問う
- ・今後の土地開発公社は ほか 2 問

北川 悦子 議員 19

- ・リフォーム助成を使いやすく
- ・社会保障制度改革をどう受け止めるか ほか 1 問



八田 外茂男 議員

安全・安心な海水浴場に 粘り強く努力する 副町長

〔八田〕

内灘の財産は海岸であり、砂丘だ。そこに先人たちがこの町を築き上げ、過去には石川県中の人が、電車に乗って海水浴場に来てレジャーを楽しんだ。

現在もたくさんの方が来ているが、本当に家族連れが心の底から喜べ、みんなが安心して泳げる海水浴場となっているか。

〔町長〕

町民の意識調査では、好きな景観に海岸や砂丘をあげる人も多く、町民の愛着や誇りを強く感じている。

内灘海岸を観光スポットとして活性化し、にぎわいを創出。また安全で健全な場所にしなくてはならない。そして後世へ美しい景観を保持していく必要がある。

ハード面では、内灘海岸にアクセスする道路として、内灘高校北側と金沢市リンクス側から進入路を整備し、海岸一帯の利便性を向上させたい。

〔八田〕

行政が中心となり、いろんな団体と連携しながら健全な海水浴場をつくる必要がある。

〔副町長〕

海岸の健全性や安全・安心への思いは同じだ。今後粘り強く努力していきたい。

西荒屋小学校

〔八田〕

西荒屋小学校は平成31年度に複式学級化となる可能性がある。町の対策を示せ。

〔教育長〕

西荒屋小学校の児童数増加策を押し進め、校区外から通学できる方法を検討したい。

〔八田〕

よりよい学校生活を送れるように、町は適正な学校規模で、教育環境を整えよ。

〔教育長〕

適正規模は大切な要素だ。今後教育委員会や通学区区域審議会でも検討したい。



たくさんの方でにぎわう内灘海岸

保育所跡地

〔八田〕

旧緑台保育所跡地に緑台公民館移設の要望書が町会から出されているが町の考えは。

〔町民福祉部長〕

全町的な活用策の意見もあり、地元の意向も踏まえ検討したい。

空き家調査

〔八田〕

空き家調査は家主に協力いただき、住める家、住めない家まで調査せよ。

〔町民福祉部長〕

今回の調査は、危険度をはかる外観調査となる。内部調査は想定していない。

オープンデータ

〔八田〕

オープンデータ※は、今後の行政運営に欠かせないツールの一つだ。

〔総務部担当部長〕

公共データを活用し、利便性の向上や地域の活性化につなげたい。

〔八田〕

新たな産業の創出や、民間との協力が課題だ。観光客の集客にも利用できるのではないか。

〔総務部担当部長〕

他市町や国の動向を見据え、検討を重ねていきたい。

※オープンデータとは、

官公庁などが管理し、限られた場所で利用されているデータを、一般の利用者がいつでも取り出し利用可能にしたデータ。



川口 正己 議員

フィルムコミッションを設立せよ

新幹線開業に向け調査検討 都市整備部長

都市整備部長

（川口） 風紋が浮き上がる砂丘や河北潟、日本海に沈む夕日や四季折々の風景など、町には映像撮影に適している場所が多くある。

フィルムコミッション

※を立ち上げ、観光振興や活性化に生かしてはどうか。

（都市整備部長） 平成27年春の北陸新幹線金沢開業に向け、フィルムコミッションは情報発信の有効な手段の一つと捉える。フィルムコミッションの設立を前向きに調査検討し、観光情報の発信強化につなげていきたい。

海水浴場

（川口） 内灘海水浴場に、家族でくつろげる町営の浜茶屋を望む。

都市整備部担当部長

設置場所や既存の浜茶屋と県の許認可、権利関係などもあり、今後調査検討したい。

（川口）

安全のために子供用プールをつくる考えはないか。

都市整備部担当部長

安全・安心の観点から、町営の浜茶屋とあわせて今後検討したい。

消雪設備

（川口）

アカシアや鶴ヶ丘4・5丁目には全く消雪設備がない状況だ。向陽台公民館前や、通学路になっている鶴ヶ丘1・2丁目の町道など、町全体の整備を急げ。

（町長）

高齢者の方々に優しい町を目指し、交通量が多い幹線道路や利用頻度の高い通学路等も整備できないか検討する。

墓地

（川口）

日本の総人口は2004年をピークに、2050年には25・5%減少するとされている。一人暮らし世帯は全体の4割になると予測されるが、町は少子高齢化に向けて、今後の霊園運営や共同・合葬式墓地の整備計画をどう考えているのか。

（町長）

墓の継承者がいない世帯や低価格の墓を望む声が多く、ニーズに応えるため、従来の区画タイプに加え、ご遺骨を共同で埋葬する合葬式墓地の計画も昨年度から調査を進めてきた。規模や使用料を議会に示し、早期に整備したい。

文化財

（川口）

2年前に町文化財保護審議会から**3件の答申※**があったが、その後の進捗状況は。県有地を購入せず、現状のまま文化財に指定できないか県に働きかけよう。

（教育次長）

今後は購入せずに文化財指定できるよう粘り強く交渉を進めたい。

※フィルムコミッションとは、映画やテレビドラマ、CMなどの撮影や支援をおこなう非営利公的団体。

※3件の答申とは、内灘海水浴場横の射撃指揮所と、西荒屋、宮坂にある着弾地観測所の3件。



富山県上市町の合葬墓



清水 文雄 議員

派遣人事は条例違反だ

条例に抵触していない 総務部長

清水 7月1日の派遣人事は職員の派遣等に関する規則第2条で定める職員を派遣することができ、NPO法人プラッツうちなだは入っていない。

地方自治法や町条例に違反とした職員派遣だ。

総務部長 6月に人事を決めた時点で規則改正を行い、規則第2条にプラッツうちなだを加えた。7月1日付での規則改正で、条例に抵触はしない。

清水 機構改革も含めて、議会への説明責任について町長の考えを問う。

町長 報告しなかったことは気配りが足りなかった。今後気をつけたい。

清水 派遣による人員減で職員の残業増や労働環境への影響、住民サービスの低下はないか。

町長 行政組織の統廃合をおこない、影響はないと認識している。

清水 派遣職員の人件費は町から支給されている。管理委託費の上乗せに当たらないか。

教育長 従来からの業務も遂行している。町のスポーツ振興が目的の派遣で指摘には当たらない。

防災訓練

清水 町全体での総合防災訓練を、毎年実施していくことが重要だ。

総務部長 今年度の訓練状況を踏まえ、来年度も順次校下ごとに実施していきたい。

清水 改定された県の原子力防災計画を踏まえ、独自の訓練を実施せよ。

総務部長 昨年同様に放射線スクリーニング体験等の訓練を実施したい。

教職員

清水 近年、学校現場における教職員の多忙化や超過勤務、さらには健康問題、とりわけ精神疾患による休職者が増加している。

町教育委員会として把握している町内小中学校における教職員の超過勤務状況あるいは疾病発生状況及び休職者数、精神疾患患者数を聞く。



放射線スクリーニング体験

教育次長 勤務時間は、学校長及び教頭が退校時間の把握に努め、十分な管理をおこなっている。

休職者数の状況は昨年度、精神疾患が原因で病気休暇から休職扱いになった教職員が1名。今年度は1学期に3カ月間の病気休暇を取った職員が1名いたが、現在は職場復帰している。

町教育委員会として把握している町内小中学校における教職員の超過勤務状況あるいは疾病発生状況及び休職者数、精神疾患患者数を聞く。

清水 平成18年度に小中学校で労働安全衛生委員会※を設置したが、現在の状況を示せ。

教育長 平成20年度以降は、全小中学校をあわせての委員会は開催していない。

平和教育

清水 各学校での平和教育は、実際どのように実施されているのか。

教育長 ほとんどの学校で夏休みの登校日に、校長から平和についての話をしている。

※労働安全衛生委員会とは、労働安全衛生法で定められている、労働者の意見を事業者のおこなう安全衛生に関する措置に反映させるための委員会。主に労働災害の防止に取り組む。



水口 裕子 議員

内灘闘争史跡の文化財指定は

指定に努力する 教育長

水口

内灘闘争の跡地・着弾地観測所などを町の文化財に指定するために、川口町長になつてからの文化財審議委員会の審議内容はどうだったのか。

委員長が着弾地観測所を早く指定せよと陳情されたことについて、町はどう捉えているのか。

教育次長

今年3月に開催された委員会でも、平成23年12月に出された、町文化財に指定が妥当との答申と同様の審議内容であった。

町教育委員会として早期に県に要望を出していきたい。

水口

県の所有のまま町文化財に指定できないのか。

教育長

県有地のままでの指定に努力する。

ほのぼの湯

水口

町民はほのぼの湯の一日も早い建て替えを望んでいる。スケジュールを示せ。

町長

現在地にて規模や施設のあり方・財源確保・地区計画指定も検討し取り組む。早急に国・県へ働きかける。

水口

宿泊施設の不足を解消する手だては。

町長

ほのぼの湯と併合した宿泊施設や、ターミナルの増築案もある。民間誘致も考えている。

水口

併設して運営費が町の負担増にならないのか。

町長

運営費を抑えるため、民間利用や地区計画を検討している。



内灘闘争風景

学習会

水口

災害時における障がい児への対策、特に精神的に障がいがある方たちへの対応を学んでおけば、いざというとき、現場で余裕を持った対応ができる。

ふだんから理解し合うために、学習会がどのようにつながっているか。

町民福祉部担当部長

10月開催予定の「社会福祉教育講座」の中で、障がい者への災害時の対応等について意見交換などの学習会をおこないたい。

今回の学習会で、障がい者に対する理解と支援体制の充実が図られるよう積極的に取り組みたい。



学習会で意見交換

携帯電話のルール徹底を 研修会を実施する

教育次長



中島 利美 議員

中島 携帯電話などの所有率は年々増加し、低年齢化している。

県がおこなった平成24年の実態調査では、高校生96・5%、中学生14%、小学生12%の児童生徒が携帯電話やスマートフォンを所有しているという調査結果が出ている。しかし中学生の実態は、調査結果よりも高い割合で所有しているのではないか。

当町の小中学生の所有率はどのくらいか。

教育次長 平成21年の調査では、小学生13・5%・中学生25・9%だった。昨年度の町の調査結果は、小学生13・0%・中学生は19・1%であり、若干数値が下がっている。今年度も夏休み前に調査を実施したが、まだ集計ができていない。あまりしだい報告する。

中島 携帯電話などを利用したいじめや事件などの事例はあったか。

教育次長 中学校から悪口などの書き込みがあったと報告を受けている。

中島 子供たちへのルールが徹底されていない。町教育委員会として今後の取り組みは。

教育次長 児童生徒・保護者・教師を対象とした研修会を実施していく。

赤ちゃん登校日

中島 町で「赤ちゃん登校日」のような事業はおこなわれているか。

町民福祉部長 今年度から「赤ちゃん&MAMAから学ぼう」を実施している。

中島 教育の一環として町独自で継続せよ。

町民福祉部長 来年度以降も事業を継続したい。



ネット社会に潜む危険性

妊婦歯科検診

中島 今定例会で町が示した妊婦の歯科健診に対する助成は、妊婦と生まれてくる赤ちゃんにとっても画期的であり、どのような形で実施されるのか、具体的に示せ。

町長 本年11月1日から実施し、4月にさかのぼり助成する。

対象者は、町に住所を有する方で、妊娠中に1回とし、母子手帳と同時に受診券を交付する。希望する時期に指定医療機関で無料受診できる。



子育ての大切さを学ぶ

中島 一般の集団検診でも、歯科健診の日数をふやすことはできないか。

町長 受診希望者も多いことから今後、健診回数の拡大を検討する。

中島 金沢医科大学にも歯科検診への協力を要請できないか。

町長 町と河北郡の歯科医師会に要請している。今後、金沢医科大学へも要請したい。



中川 達 議員

道の駅の現状と今後は

指定管理の条件を検討 都市整備部 担当部長

中川 道の駅に、町は大きな土地と建物を貸しているが、それに対する成果が見受けられない。商売をされる方が地代も払っていないのはおかしい話だ。町が事業を任すかわりに地代を相殺するという事業形態は聞いたことがない。

町はどのように考えるのか。

都市整備部担当部長 現事業者の指定管理期間は平成27年3月末となっており、次期の指定管理者募集時までに、指定管理の業務形態などの条件を検討していく。

募集に際しては、公募により事業者を選考し、指定議案として議会に示したい。



内灘ブランドの情報発信（サンセットパーク）

温浴施設

中川 現在地での温浴施設と、福祉センターも含めた町の考えを聞く。

町長 温浴施設はもちろん、宿泊施設も同時に、できれば道の駅も含め総合的に考える。

消雪装置

中川 大学2丁目は生活道路が急勾配であり、降雪時に車も出にくい。消雪装置を整備せよ。

町長 町の整備方針に沿って実施する。

収納対策

中川 町税全体の徴収率アップの対策を聞く。

総務部担当部長 夜間・休日の電話催告や訪問を実施し、滞納者にあわせて納付計画を立て、滞納解消に努めている。

うちなだの里

中川 うちなだの里の人員費は、これまで理事に支払われたのか。

副町長 理事のうち、施設長は報酬を受けている。

中川 今回新たに常勤の理事を選任し、報酬が支払われることを町はどう考えるのか。

総務部担当部長 町は税・国民健康保険税のみ差し押さえをおこなっており、各種料金はおこなっていない。

中川 町の各種料金の徴収対策を聞く。

総務部担当部長 税と各種料金の重複滞納者には、総合収納室が窓口となり対応している。必要な場合、財産の差し押さえ等をおこなう。

中川 町が法人に貸している土地を、買い上げてもらう意見も出ている。

副町長 社会福祉事業の健全性や社会的信用など、運営実態を総合的に判断し、土地の有償賃貸や売買も含め検討する。

住宅リフォーム助成制度の創設を 来年度実施に向け検討 町長



太田 臣宣 議員

太田 国では来年4月からの消費税増税が議論されており、特に地方では増税後の消費減退が心配されている。

町の活性化のため、地元施工会社に限った住宅リフォーム助成制度を創設せよ。

また助成金は現物支給でなく、地元商店で購買可能な制度も検討できないか。

町長 定住促進奨励金が本年末で終了するにあたり、リフォーム助成は新たな住宅施策である。

居住環境の向上や安全性の確保、地域経済の活性化につながり、定住促進にも期待できる。

町商工会に加盟する事業者へ工事を発注した際、事業者のみならず地域全体が活性化する仕組みを今後商工会と協議し、来年度実施に向けて検討を進める。

空き家対策

太田 空き家調査の中で、活用可能な空き家の調査も実施せよ。

町民福祉部長 改修工事により再利用が可能なまた修繕が必要ない物件の調査も指示している。

太田 危険家屋を町民に周知し、解体費の助成も検討せよ。

町民福祉部長 町会や区、学校等の関係機関へ情報を提供する。助成については、今後検討する。



新しい教室がスタート！（プラッツうちなだ）

プラッツうちなだ

太田 プラッツと体育協会、また町との関係が明確になっていない。

プラッツに対する取り組みを聞く。

教育長 今が新たなステージへの移行と捉える。町のスポーツ振興に寄与している体協をはじめ、スポーツ少年団や各種団体が一体となり、プラッツのもとでスポーツによる町の活性化を目指していく。

また、指導者研修・合同事業開催や県体への強化策など、多方面で協力体制をつくり、連携を深めたい。

太田 各施設における指定管理者間の連携を再度問う。

教育長 本年5月に指定管理者合同会議が開催された。今後連携策が指定管理者から提案される。

スポーツ推進計画

太田 スポーツ推進計画の進捗状況を示せ。

教育長 最終段階に入っており、今年度中に完成する。

交通安全対策

太田 内灘湊大橋からのと里山海道へ接続する千鳥台交差点の安全対策を、早急に実施すべきだ。

都市整備部長 速やかに改善が図られるよう県や関係機関と協議する。

太田 千鳥台交差点から内灘海岸へのアクセス道を整備せよ。

都市整備部長 内灘砂丘のさらなる魅力発信を進める上で大変重要であり、県に申し入れていく。



生田 勇人 議員

西部承水路の排水機能改善を

県へ強く働きかける 副町長

（生田）

近年多発するゲリラ豪雨で、去る8月1日・23日の両日、町北部の宮坂・西荒屋地区では多くの床下浸水や道路冠水が発生した。

かほく市より連なる西部承水路の流末排水口の処理機能不足が原因であり、一刻も早い改善が必要だ。

被害解消への取り組みを聞く。

（副町長）

要因としては排水機能に支障が生じ、水路から住宅地側へ逆流したことや、繁茂する雑草等が円滑な排水を阻害していると考えられる。

町では県担当部局に被害状況を説明し、これら要因の対応策を早急に講じるよう申し入れた。

引き続き関係機関には排水機能の改善を強く働きかけていく。

（生田）

承水路に点在する取水口等から土砂崩れが起き、堤防決壊の恐れがあった際、管理者の連絡先がわからなかった。

（副町長）

各施設において、大規模施設等と同様に連絡先等を記載した看板が設置できないか、関係機関と早急に協議する。

消防団員

（生田）

火災防御の要は初動体制であるが、日中の火災時においては在町の消防団員数が著しく減少する状況だ。

消防庁では、地方公務員の消防団への入団を促進している。

町内通勤者である町職員を、新規採用時などに消防団への入団を推奨し、迅速な初動体制を確立するべきだ。

（町長）

近隣市町における地方公務員の消防団員数は、かほく市6名、津幡町5名となっている。

町職員の入団については、地方公務員法の規定に従い許可を受ければ可能であるが、本来の職務に支障がないことや、本人の意思も尊重したい。

今後は職員に周知し、入団を働きかける。

（生田）

消防団協力事業所に対し、県が実施している入札制度の優遇措置などを取り入れるべきだ。

（町長）

認定された事業所に対して、入札制度も含め、優遇措置の方策を検討したい。

（都市整備部担当部長）

来年度以降は町補助金を国と同等とし、事務手数料の見直しや業務改善による自立化を促す。



排水機能の早急な対策を

シルバー人材センター

（生田）

経費をすべて補助でまかなえる状態では、請負料は安価にできて当然である。民間業者をひっ迫させているとの声もある。

（都市整備部担当部長）

請負料は近隣と同程度の価格を設定しているが、事務手数料9%徴収は県内で最高率となっている。

（生田）

職員数と人件費だけが年々増加している。売上に関係なく経営でさる補助金額では、職員の向上努力を生まない。

内灘高校の活性化を 応援体制を構築する

町長



藤井 良信 議員

教 育

藤井 定員割れが続いている内灘高校活性化の現状を示せ。

町長 「教育のまち内灘」の一翼を担う存在として、福祉体験学習のサポートや自転車競技部強化のため、体育振興補助金を支援している。

藤井 内灘高校を応援する組織を立ち上げよ。

町長 多くの生徒が入学を志願するよう魅力的な高校になるよう、仮称内灘高校後援会を結成し、応援体制を構築する。

藤井 高校敷地内の木立が群生している箇所を「内灘高校砂丘の杜公園」として整備するよう県へ要望せよ。

教育次長 高校の存在が際立つような特色ある整備ができないか県に働きかけていきたい。

藤井 教育長や教育委員が小中学校に出向き、全職員と協議する場として「教育長出前トーク」を導入せよ。

教育長 私が学校に出向き、校長初め教職員と情報交換を重ねている。

藤井 小中高を通じて、カリキュラムの中に「がん教育」を導入せよ。

教育次長 今後、国が示す施策を見守り、適切に対処していきたい。

藤井 教育委員会議の内容を示せ。

教育次長 定例的な議案審議のほか、日々の状況報告や社会教育委員・臨床心理士との意見交換などをおこなっている。

藤井 町のがん検診で胃がん撲滅のため「ピロリ菌※感染検査」の導入を求める。

保険年金課長 検査導入の準備を進めたい。



目指すは全国制覇！（内灘高校自転車競技部）

公 会 計 制 度

藤井 公会計制度※の改革改善策を示せ。

総務部担当部長 内部の管理強化と外部へのわかりやすい財務情報の開示が不可欠である。算定方式を総務省改定モデルに改め、町のホームページで公表していきたい。

※公会計制度とは、歳入歳出予算の実績を明らかにし、財政上の責任を明確にすることを目的としている。

※ピロリ菌とは、ヒトなどの胃に生息する細菌。胃がんや胃潰瘍の原因とされ、50歳以上の日本人の80%が保菌していると言われている。



酒本 昌博 議員

不登校への対策は

未然防止を目指す

教育長

酒本 一般文部科学省は学校基本調査の速報値を公表した。その中で昨年の全児童生徒に占める不登校の比率は、小学校で0・31%、中学校で2・56%と示されている。町における不登校の件数と推移を示せ。

教育長 不登校生の定義は、1年間で30日以上欠席だが、病気以外の10日以上欠席は、5月末時点で小学校は3名・中学校は27名で、特に中学3年生が多い。過去10年間の推移では、小学校で平成18年度、中学校では平成21年度をピークに減少傾向だ。



元気に登校（内灘中学あいさつ運動）

酒本 不登校の児童生徒に対して、どのような対策を講じているのか。

教育長 スクールカウンセラーを配置し、相談体制の充実を図っており、昨年10月からは、アンケートにより、心の悩みの把握をおこなっている。また今年度からは、1ヶ月に3日以上欠席した児童生徒には、家庭訪問や個別指導など積極的に関わることで、いじめも含め不登校の未然防止を目指している。

道路冠水

酒本 町において、ことし8月1日と23日に大雨警報が発令され、避難指示や住宅への被害はなかったが、向栗崎や鶴ヶ丘では道路冠水があり、通行止めとなった箇所があった。

24時間雨量が140ミリを越えるような大雨の場合は、大規模な雨水対策が必要だ。

町ではこの状況をどう捉えているのか。

町長 下水道事業認可計画では、二十数億円をかけすべての雨水を大野川へポンプ排水する計画となっている。

しかし事業費が高額のため、直接放流とポンプ排水で事業費の軽減が図れないか検討している。

対応策として、冠水しないよう低地部分の道路をかさ上げるため、周辺地盤高等の調査を早急におこないたい。

酒本 調査を含め、具体的な整備時期を示せ。

都市整備部長 年内に調査をおこない、来年度から事業化に向けて、実施設計費や工事費などを国や県へ要望していく。



鶴ヶ丘1丁目の道路冠水



能村 憲治 議員

日本一の町づくりを問う

活気あふれる元気な町に 町長

能村 ことし2月に新町長が就任し、副町長・教育長の三役が揃った。スピード感を伴った政策実行が期待されるが、町長就任から7ヶ月が過ぎ、町民から「何が変わったのか」と問われる。何を日本一にしたいのか、具体的な政策を示せ。

町長

・安心して子育てできる環境づくりを推進。
・北部地区活性化調査事業に取り組む。
・商工会と連携し、町の経済活性化を図る。
・総合公園を第3次拡張し、体育施設を充実。
・住宅・空き家リフォーム助成制度に取り組む。
・消雪設備計画策定の中で設置に取り組む。
・温浴施設の改築、宿泊施設の建設を検討。
以上の施策を通して、活気あふれる元気な町を作り上げていきたい。

公民館



プレミアム商品券販売に長蛇の列

能村 重要な職務にある公民館長に対し、社会教育法の基準などを周知し、また研修を実施しているのか。

教育次長 公民館長の責務、公民館活動の基本的な知識など研修、指導をおこなっていく。

土地開発公社

能村 土地の先行取得はしたが、事業が進まず、借入金の金利負担だけが増加し、健全な町政運営とはいえない状況だ。

現在の社会情勢から、土地価格の上昇がなく、事業そのものを見直さなければならぬ状況だ。町は今後の土地開発公社をどのように考えているのか。

道路整備

能村 アカシア向栗崎2号線直線化事業※は、23年間過ぎた今でも事業が進んでいない。

都市整備部長 用地取得と建物の補償をおこなってきたが全筆取得に至っていない。粘り強く交渉していく。

都市整備部長 事業化が進まない中、町が土地開発公社から土地を買い戻すのは補助金の適用を受けられず難しい。
買収が進まない事業は廃止し、取得済みの土地を売却する方法もあるが、事業化されるまで土地開発公社を保有する考えである。

※アカシア向栗崎2号線直線化事業とは、アカシア1丁目と向栗崎2丁目の歩道のない幅員4m程度の一方通行道路において、登下校時の児童生徒の安全安心を図るため、歩道等の整備をおこなう事業。

今後の事業用地取得は、土地開発公社の解散も視野に入れて研究する。



北川 悦子 議員

リフォーム助成を使いやすく

商工会と協議

町長

北川

住宅リフォーム助成制度創設に向けての進捗状況を問う。

宮古市の場合、リフォーム対象は備品以外何でもよく、シンプルで使いやすい制度と聞く。

また津幡町の場合は他の住宅助成金と併用できていると、羽咋市は助成を商品券にした点で使いにくいと聞く。

誰もがシンプルで使いやすいものにせよ。

町長

現在、町商工会と制度内容の補助額や上限金額、また商品券などの協議をしている。

商品券での助成は、使いにくいとの意見もあり役場内部で議論している。

皆さんが使いやすい制度を、来年4月から創設したい。

共同墓地

北川

内灘霊園第10期造成工事の中には、共同墓地は計画されていない。建設場所はどこを予定しているのか。

公営か民営の問題はどのように考えているか。

都市整備部長

用地は管理棟に向かって左手周辺の未造成地を考えている。

また内灘霊園は都市公園なので、公営を考えている。

北川

他自治体の永代使用料や管理料を示せ。

都市整備部長

合葬式墓地の永代使用料は、安いところで5万円、高いところでは13万円の調査結果だった。

北川

お盆には供養してほしいとの声を聞く。

都市整備部長

供養の形態はさまざまであり、献花台等を設けたい。



8月に開催された盂蘭盆法要

社会保障制度改革

北川

社会保障制度改革国民会議の結果をどう受け止めるか。

町民福祉部長

町民の各世代がこれからも安心して生活するために必要な措置である。

北川

介護保険の要支援人数とサービスの利用状況を問う。

町民福祉部長

平成25年3月実績では、要支援認定者は165名。居宅介護サービス等の受給者は122名となっている。

北川

現行の要支援者保険給付は、サービスの種類や利用料など、全国一律で決まっているが、新しい地域支援事業は、市町の裁量に任されている。町の考えを問う。

町民福祉部長

介護支援サービスの質が低下しないよう努めていく。

北川

町から要支援者への給付は、今までどおり保険適用にせよ。

町民福祉部長

詳細が判明した上で判断する。



地域を支える介護支援

あなたの声を国へ

国へ届けた意見書

道州制導入に断固反対する

(賛成13、反対1、棄権1)

●ほとんどの町村は合併を余儀なくされ、住民と行政の距離が遠くなり、住民自治が衰退する。

提出議員 中川 達

賛成議員 川口 正己 生田 勇人

反対

藤井良信 議員

社会全体が大きく変化していく中、時代とともに合理性や行財政的にも構造改革は進められるべきだ。

教育予算の拡充を求める

(全員賛成)

- 少人数学級の推進
 - 義務教育費国庫負担制度の拡充
 - 学校教育環境の整備充実
 - 教職員の定数改善や事務負担軽減
- 提出議員 生田 勇人
賛成議員 清水 文雄 川口 正己

請願の審査

採択した請願

教育予算の拡充を求める

(全員賛成)

1回目

請願者

石川県教職員組合河北支部

執行委員長 中木 大進

紹介議員

清水 文雄

不採択となった請願

公的年金2・5%削減中止を求める

(賛成6、反対9)

2回目

請願者

全日本年金者組合内灘支部

支部長 北川 進

紹介議員

北川 悦子

不採択となった請願

消費税増税の実施中止を求める

(賛成3、反対12)

2回目

請願者

消費税廃止石川県各界連絡会

加藤 忠男

紹介議員

北川 悦子

賛成

北川悦子 議員

国民は景気回復の実感はなく、労働者の年収は減り続けている。消費税増税は日本経済と暮らしが壊れてしまう。増収分は全額社会保障の充実に充てる約束はどこへ行ったのか。

反対

酒本昌博 議員

我が国の社会保障費は110兆円と、この20年で倍以上にふえている。今後も少子高齢化の急激な進行に伴い、さらなる増加が見込まれる。苦渋の決断だ。

意見書とは

提出議員の他に一名以上の賛成議員をもって、議会議案として提出され、本会議の採択をもって内閣総理大臣および国・県等の関係機関に提出される。

請願とは 議員の紹介が必要。受理されると、定例会で審議され、本会議の採択をもって意見書となる。

追跡

ありゃ～
どうなったがいね～

定例会での一般質問のゆくえ

ワクチン費用を助成せよ

ヒブワクチンは助成対象となっているが、子宮頸がん予防と小児肺炎球菌ワクチンも助成を実施せよ。

平成22年9月議会

恩道 正博 議員

答 弁

来年度から実施したい

子宮頸がん予防ワクチンは来年度から、肺炎球菌ワクチンは今年度途中から実施を検討する。

その後

平成23年度から実施

現在、両方とも定期予防接種が可能になり、全額公費で接種することができるようになりました。



内灘高校北側の道路を整備せよ

子どもたちが安全に通学するためにも、内灘高校北側の道路（町道準幹10号線）を早期に整備せよ。

平成23年3月議会

清水 文雄 議員

答 弁

事業を進める

各課題を整理し、関係機関と協議、用地交渉も再開したい。

その後

計画実行に向け、粘り強く努力

事業化に向け用地交渉をおこない、補助事業の採択となるよう、関係機関と現在も協議中。





街がどインタビュー

笑顔・みつけた

◆今回紹介する方は、向栗崎にお住まいの下村純平さんです。

◆何のお仕事をされていますか？

○向栗崎でクリーニング店をしています。

◆どんなお店にしたいですか？

○お客様の思いにに応えられるお店にしたいです。

◆最近興味をもっていることは？

○先日、向栗崎のお祭りで三味線を弾いて、とても興味を持ちました。

◆議会を傍聴しことはありますか？

○「議会だより」からも内容の濃さが伺えますが、一度傍聴してみたいです。

◆議会に望むことはありますか？

○議会では町民の生活に関わる多岐にわたる議論がされていると思います。

地域が活性化するために、世代を超えた人と人とのコミュニケーションが取りやすい施策をお願いします。

インタビュー 酒本昌博

議会を傍聴しませんか

次の議会は**12月**に開催されます。傍聴の受付は、当日3階のエレベーター横でおこなっています。

議会事務局 TEL 286-6715

議会録画をご覧ください

●町ホームページで、インターネット配信されています。



町議会Eメールアドレス gikai@town.uchinada.lg.jp

町ホームページ <http://www.town.uchinada.lg.jp>

編集後記

ひと昔前まで、10月中旬ごろには、こたつの準備をしていたものでしたが、今年は特に10月に入っても暑い日がつづき、皆様におかれましても体調管理にご苦労されたことと思います。

また8月には、短時間で激しい雨が降り、当町でも各所で浸水被害が発生いたしました。

議会としても町民の安全・安心のために、どう取り組むべきか検討しているところです。

議会だより発行にあたりまして、議会活動や各事業内容を正しく・わかりやすく、お伝えできるように、今後とも努めてまいります。

〔太田 臣宣〕

広報対策特別委員会

委員長	恩道 正博
副委員長	中島 利美
委員	生田 勇人
委員	酒本 昌博
委員	太田 臣宣